

福祉サービス第三者評価（総括表）

①第三者評価機関名

株式会社アミュレット

②施設・事業所情報

名称：常総広域障害者支援施設 常総ふれあいの杜		種別：施設入所支援
代表者氏名：藤原 裕也		定員（利用人数）： 56 名
所在地：茨城県常総市大生郷町 1880		
TEL：0297-27-5016		ホームページ： http://www.kings-garden.or.jp/publics/index/35/0/
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2007 年 4 月 1 日		
経営法人・設置法人（法人名等）：経営法人：社会福祉法人 日本キングス・ガーデン 設置法人：常総地方広域市町村圏事務組合		
職員数	常勤職員： 38 名	非常勤職員： 22 名
専門職員	サービス管理責任者 3 名	理学療法士 1 名
	看護師 3 名	看護師 2 名
	栄養士 1 名	
施設・設備 の概要	（居室数）56 床	（設備等）
		地域交流棟、多目的活動室、機能回復訓練室、 創作活動室、医務室、特浴室、個浴用浴室

③理念・基本方針

理念

「あなたは高価で尊い」

日本キングス・ガーデンは聖書の御言葉を礎に障がいのある人や高齢者の尊厳を守り、地域社会に開かれた、愛と喜びと賛美にあふれる施設を目指し、ご利用者中心のケアを行い、平安と希望に満ちた人生を送れるように支援します。

- ・わたしの目には、あなたは高価で尊い、わたしはあなたを愛している。（イザヤ 43：4）
- ・最も小さき者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。（マタイ 25：40）
- ・その砂漠を主の園のようにする。そこには楽しみと喜び、感謝と歌声がある。（イザヤ 51：3）
- ・夕暮れ時に、光がある。（ゼカリヤ 14：7）

基本方針

- 1、「仕える」 日々の祈りを大切にし、喜んで利用者に仕える。
- 2、「利用者中心」 利用者中心のケアを行い、自立した生活ができるように支援する。

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| 3、「尊厳」 | 利用者の自由と尊厳を守り、ありのままにその人を受け入れ、心に寄り添う。 |
| 4、「連携」 | 利用者の安全と健康を支えるため、職種間の連携を密にする。 |
| 5、「専門性」 | 誰もが安心して生活できるように、専門性をもって、地域社会に貢献する。 |

④施設・事業所の特徴的な取組

常総地方広域市町村圏事務組合より指定を受け、2007 年 8 月からスタートし、家庭的な雰囲気大切に施設です。

支援を必要とされる身体・知的に障がいのある方が生活を共にし、生産的、創作的活動や機能訓練を通し生きがいのある「生活」を支援いたします。

当施設では、身体・知的に障がいのある方々が、一緒に生活しておられます。また、日中はご利用者の希望や状態に合わせ、リハビリレクリエーション、ハンドクラフト、菓子工房、自由散策、在宅活動の 5 つのグループで活動を行っております。

日々の暮らしを、「生」きる「活」きる「参加」する、と捉え支援をさせていただいています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 3 年 8 月 1 日（契約日）～ 令和 3 年 9 月 17 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（令和 3 年度）

評価実施期間	令和 6 年 6 月 13 日（契約日）～ 令和 6 年 10 月 20 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（令和 6 年度）

◇特に良いと思う点

・利用者の現状や課題等をアセスメントを通して一人一人丁寧に抽出して、個別支援計画書に反映させ日々の支援につなげています

施設では、専用のアセスメントシートを活用して、利用者一人一人の思いや希望、現状の課題などを丁寧に抽出しています。利用者のアセスメントは利用者の担当職員が丁寧に行い、その後リーダー、副主任、サービス管理責任者が確認する仕組みとしています。利用者の状態について丁寧にアセスメントしていることで、利用者の思いや希望を汲み取ることができているほか、日々の活動の中でも利用者のできる事や得意な事の発揮に繋がられることを強みとしています。個別支援計画書にも利用者の支援方針を分かりやすく記載していることで、職員間でブレることなく安定した支援を提供することができています。

・職員の専門性をより高めていくために、資格取得に向けた環境を充実させています

資格取得のバックアップに力を入れていて、介護福祉士、実践者、介護職員初任者研修を内部で開設して資格取得を目指すことができる環境を整えて職員の育成につなげています。介護福祉士取得者も年々増えており、職員の専門性が高まっています。また事業所内の各委員会が中心となり、全職員を対象に必要な研修を毎月行い、知識等が習得できる環境も整えています。事業所内の研修を充実させて職員の専門性を高めて、より質の高い支援が提供できるように取り組んでいます。

・第三者評価や設置母体による総合評価などを定期的に受審し、運営及びサービスの質の向上に向けて前向きに取り組んでいます

ホームページにおいて理念、運営方針等の公開しているほか、3年に一度第三者評価の受審、設置母体である常総地方広域市町村圏事務組合による総合評価、年に一度の法人内の内部監査において法人監事である公認会計士の監査などを通して外部の目を入れて運営の透明性を高めています。また各監査や評価の結果については運営層のみでなく必要な項目については全職員にも周知しています。監査や評価の結果を受けて改善につなげていく姿勢を大切にしてい、運営及びサービスの質の向上に向けて前向きに取り組んでいます。

◇特に改善したいと思う点

・基本的感染対策を継続したうえで、職員間のチームワークを十分に発揮して利用者が楽しむことができる行事やレク活動の更なる充実を期待します

令和6年度の事業所目標として感染対策に留意しながら、共存の道に一步踏み出していくためにご家族の意見を踏まえたうえで帰省の再開の予定や日常生活の中でも活動班の感染対策を徐々に廃止して混在型の活動班に戻していく事など、新型コロナウイルスとの共存を目標にしています。基本的感染対策を継続しながらいちご狩りや登山なども取り入れて利用者の楽しみにつなげています。今後も基本的な対策を取ったうえで、行事なども少しずつ再開していきたいと考えています。職員間のチームワークを十分に発揮して利用者が楽しむことができる行事やレク活動の更なる充実を期待します。

・ 法人の運営理念、基本方針を全体で共有できるような取り組みを再開できるとよいと思います

法人の運営理念、基本方針については事業計画書に明文化して、各種会議を通して職員に周知する仕組みとしています。また家族に対しては家族会の中で説明して改めて家族とも方針を共有できる機会を作っています。しかしながらコロナ禍の長期化もあり、職員や家族に直接説明する機会も減少しています。施設としても職員や家族に改めて運営理念や基本方針を伝えていきたいということも考えています。法人や施設としての方針を再度全体で共有できるような取り組みを再開して、目指していることを確実に共有できるようになるとよいと思います。今後の取り組みを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

⑧評価細目の第三者評価結果（別紙）